

# わたしたちの理念

生きてて良かった人生を歩む支援  
笑顔がでる生活を作るお手伝い

色々な人生がありますが、  
おかれた環境の中で望む暮らしの  
お手伝いをしたいと思っています。  
かゆいところに手が届く信頼、  
安心のネットワークで、  
みんなの想いを実現します。



地域の笑顔に  
支えられ  
地域の笑顔と  
支えあ  
おかげ様  
お互い様の  
応援団

## 一般社団法人 在宅療養ネットワーク

〒760-0068 高松市松島町2丁目12番8号

TEL 087-802-2237

FAX 087-802-2238

<https://ryouyounet.org>

ホームページ  
こちらから▶



**FB** <https://www.facebook.com/ryouyounet/>



# 一般社団法人 在宅療養ネットワーク

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

ケアマネジメント  
訪問看護  
生活介護  
療養通所介護  
児童発達支援  
放課後等デイサービス  
コミュニケーション相談  
居場所づくり



香川県医療的ケア児等支援センター  
「ソダテル」

## 扇ケアプランセンター

居宅介護支援事業（ケアマネジャー）



医療のみならず、介護や社会福祉の視点からその一人一人ひとりの日々の生活を見つめ、よりよく日常生活が送れるようケアプランを作成します。ご家族との連携も図りながら、ご本人・家族に寄り添った支援を心がけます。

## ゆりかごナースセンター

訪問看護・リハビリ



看護師がご自宅に訪問し、一人ひとりにあった看護を行う、訪問看護事業です。理学療法士等による訪問リハビリや歯科衛生士の資格を持ったスタッフが嚥下や口腔ケアを行っています。

## 花ファミリーケア

【重心多機能型】

療養通所介護 生活介護  
児童発達支援 放課後等デイサービス



脳血管疾患の後遺症や難病、ガン末期の医療ニーズと介護ニーズを併せもつと、小さく生まれて常時見守りの必要な乳幼児の通所施設です。

## ゆずぽっぴ

【重心多機能型】

療養通所介護 生活介護  
児童発達支援 放課後等デイサービス



主に医療的ケアの必要な子どもが通う、児童発達支援・放課後等デイサービスや大人が通う生活介護・療養通所介護です。

## 温故知新舎 〈ボランティア〉

地域の子どもたちへ、伝統工芸の良さやモノづくりの楽しさを伝え、個々の作品を通して、人の多様性について理解を深める活動です。



## 勝手気ままサークル 〈サークル活動〉

介護の息抜き時間から始まったサークル活動です。寄せ植えやお習字、コーラスなどを楽めます。

## 松島町2丁目アカデミー 〈学生支援〉

人のからだって？ 看護や医療、福祉にまつわる学びを支援。講座の開催や自習室利用など、小学生から受験生まで幅広い年代を応援します。

## ゆるぎたるぎ

〈地域居場所づくり事業〉

昔、この場所には地域の社交の場である銭湯がありました。そして、現在も地域にお住まいの方々が気軽に立ち寄って入浴でき、垣根のない憩いの場となっています。



## ピース相談室 〈地域の相談室〉

医療、介護が必要な暮らしの中で、不自由を感じたらご相談ください。



## Chapu-Chapu

〈訪問教育の部屋 放課後児童クラブ〉

支援学校から先生が訪問。子どもたちは、医療的な見守りがある中で授業を受けます。



## 香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」



医療的ケア児等地域連携拠点

医療的ケア児等やその家族、支援者の相談窓口です。情報提供や助言指導など、各ケースに応じて対応していきます。また、きめ細やかな相談支援体制づくりや人材育成、地域づくりを行います。

※当事業は香川県医療的ケア児支援センター運営事業および医療的ケア児等総合支援事業として香川県の委託事業です。

## 高松市医療的ケア児等支援事業

保育園、幼稚園、小学校、中学校、学童クラブへ、看護師が訪問して医療的ケアを行います。園・学校生活が充実するよう医療的ケア児等コーディネーターが育ちをサポートします。



※高松市から業務委託を受けて活動しています。

## CO+高松 こーぷらすたかまつ コミュニケーション相談室

重い障がいのある人と家族のためのコミュニケーション相談室です。



### ●「CO+」とは

〈例〉反応がわかりにくいAちゃんとのやり取りのなかで  
「Aちゃん、お茶とりんごジュースどちらがいいかな？  
うーん？ りんごジュースがいいよね！」  
「Aちゃん、今の遊び楽しかった？ 楽しかったよね？  
もう一回しよう」

Aちゃんの気持ちは、信頼関係があれば読み取れることも多いでしょう。が、支援する側の思い込みで判断されていることはないでしょうか？

このような問題を解決する試みとして、東京大学先端科学技術研究センターや県内の専門家に協力してもらい、iOAKなど最先端のテクノロジーを活用した相談室を開設しました。重い障害がある人の意思を正確に読み取ることが正しいコミュニケーションにつながります。